

美しい海を守り
地球にやさしい内航海運

2021年4月から

新聞購読者向けに電子版を無料配信開始

内航海運新聞のご案内



株式会社 内航新聞社

内航海運新聞のご案内

2021年4月から新聞購読者向けに電子版を無料配信開始

内航海運新聞の概要

本紙「内航海運新聞」は、昭和42年（1967）7月に週刊紙として創刊（毎週月曜日発行）したもので、内航総連とはとくに密接な結びつきにあり、内航海運業界随一の発行部数を誇る媒体として、内航・近海海運業をはじめとして、フェリー会社、造船・船用関連工業、荷主、取扱業、金融・損保および国土交通省などの関係官公庁、各種団体などにいたるまで、幅広く購読され、全国的なものとなっております。

とくに内航海運業界は3千社強の事業者と、5千隻以上の船腹量を有する業界ですが、その業界紙として情報を発信しています。

主な紙面の内容

内航海運および近海海運の市況、船舶の建造状況や見通し、運賃・用船料の現状と推移、内航総連の実施する各種事業の状況、船員労働力の問題点とその対応、燃料油価格の動向、運輸行政をはじめとする鉄道・運輸機構、日本財団、造船・船用関連工業、荷主、金融・損保などの動きを、熟練かつ若いスタッフによって迅速、確実に全国の読者に報道しております。

内航海運とは

内航海運はわが国の国内貨物輸送機関のうち、輸送トンキロ（輸送トン数×輸送距離）で約42%を占め、国民の暮らしに必要なあらゆる種類の貨物を輸送し、国内物流の大動脈として経済社会の発展に大きく寄与してきております。

一方、内航海運業界を取り巻く環境は大きく変化してきており、船員の安定的確保や物流コスト削減への輸送効率化、モーダルシフトへの対応などとともに、市場原理と自己責任原則に基づく経営が強く求められております。

内航総連とは

内航海運業界は、基本方である内航二法（内航海運業法および内航海運組合法）により、事業者の業種や規模などにより、5つの海運組合（内航大型船輸送海運組合、全国海運組合連合会、全国内航タンカー海運組合、全国内航輸送海運組合、全日本内航船主海運組合）から組織されており、この5つの海運組合の総合調整機関として昭和40年（1965）に設立されたものです。

新聞名 内航海運新聞

- 大きさ 全15段
- 発行日 毎週月曜日（臨時号を除く）
- 発行部数 約8,000部
- 平均頁数 6頁（特集号、臨時号を除く）
- 購読料金 1ヶ月 7,700円（本体7,000円）
- 1年間 92,400円（本体84,000円）
- 読者構成 【職種別】 【地域別】

海運業	75.5%	北海道・東北	2.2%
造船・関連工業	18.2%	関東	20.6%
その他	6.3%	東海・北陸	5.8%
		近畿	16.5%
		中国	19.9%
		四国	21.2%
		九州・沖縄	13.8%

内航海運新聞の広告料金（税別）

【記事下】

	全般（通し）		2分の1	
	大きさ(ﾀﾞ×ｺ)	料 金	大きさ(ﾀﾞ×ｺ)	料 金
1段	30mm×378mm	60,000円	30mm×186mm	30,000円
2段	64mm×378mm	120,000円	64mm×186mm	60,000円
3段	99mm×378mm	180,000円	99mm×186mm	90,000円
4段	133mm×378mm	240,000円	133mm×186mm	120,000円
5段	167mm×378mm	300,000円	167mm×186mm	150,000円
6段	201mm×378mm	360,000円	201mm×186mm	180,000円
7段	236mm×378mm	420,000円	236mm×186mm	210,000円
8段	270mm×378mm	480,000円	270mm×186mm	240,000円
全面	510mm×378mm	900,000円		

2段4分の1（ﾀﾞ 64mm×ｺ 9.1mm） 30,000円

3段4分の1（ﾀﾞ 99mm×ｺ 9.1mm） 45,000円

【その他】 題字下 70,000円（ﾀﾞ 64mm×ｺ 32mm）

記事中 30,000円（ﾀﾞ 30mm×ｺ 60mm）

突出し 60,000円（ﾀﾞ 64mm×ｺ 83mm）

◎一面指定は価格の20%増し

カラー広告は4段全般以上価格の20%増し

株式会社 内航新聞社

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町4-3-11 共同ビル

TEL. 03-3241-6911 FAX. 03-3270-3452

URL <http://www.naikou.co.jp> e-mail info@naikou.co.jp